

2018年10月20日発行



議会だより

No.210

Tsunan-Town

つなまち

9月定例会 9/10~9/14

会計決算・補正予算	02
一般・特別会計決算討論	03
一般質問(町政を問う).....	04~09
9月議会採決結果	09
委員会レポート.....	10~11
町民登場 この人に会いました	12

笑顔いっぱい!!
ひまわり保育園
運動会



津南町議会

検索

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。
発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 草津 進

平成30年第3回議会定例会が9月10日から14日まで開催されました。10人が一般質問に立ち、平成30年度補正予算を審議し、活発な議論がされました。会期中に合同常任委員会が開かれ、平成29年度決算について審査を行いました。平成30年度補正予算及び平成29年度決算を可決認定し、閉会しました。

平成29年度 会計決算

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	78億3,738万円	74億8,638万円	3億5,100万円
国民健康保険特別会計	11億4,902万円	11億5,480万円	▲578万円
後期高齢者医療特別会計	1億1,679万円	1億1,359万円	320万円
介護保険特別会計	17億8,485万円	17億2,114万円	6,371万円
簡易水道特別会計	1億5,656万円	1億4,683万円	973万円
下水道事業特別会計	3億6,872万円	3億4,617万円	2,255万円
農業集落排水事業特別会計	2億9,303万円	2億7,226万円	2,077万円
病院事業会計	16億2,956万円	16億2,697万円	259万円

平成30年度 補正予算

【一般会計】補正予算内容

補正額 2,302万円
 総額 66億8,874万円
主な歳入増
 地域公共交通栄村負担金 362万円
 介護保険特別会計繰入金 803万円
 過疎対策債 130万円

主な歳出増
 地域公共交通運行業務委託料 882万円
 障害者育成医療費 180万円
 障害者福祉費補助金返還金 314万円
 水稲湯水被害応急対策事業補助金 200万円
 除雪車修繕料 580万円
 埋蔵文化財活用拠点施設整備工事費 327万円

【特別会計】補正予算内容

●国民健康保険特別会計

補正額 32万円
 総額 9億620万円
 システム改修委託料増

●後期高齢者医療特別会計

補正額 183万円
 総額 1億2,251万円
 後期高齢者医療広域連合納付金増

●介護保険特別会計

補正額 3,610万円
 総額 18億194万円
 国庫支出金・支払基金交付金償還金増

●津南町下水道事業特別会計

補正額 300万円
 総額 3億8,355万円
 管渠整備工事増

●津南病院事業会計

補正額 42万円
 総額 4,125万円
 内科処置室用油圧式ベッド 42万円

第3回臨時議会(8月27日)

【一般会計】補正予算内容

補正額 5,036万円
 総額 66億6,572万円
 大船町営住宅解体工事増

人事

津南町固定資産
 評価審査委員会委員選任同意

志田 英子氏 (大割野)

平成29年度 会計決算討論

今議会（9月議会）はどの市町村でも前年度決算の審議をする議会であり、「決算議会」とも言われております。決算を認定する（賛成）か、認定できない（反対）かを各議員の考えの中で、認定できる理由または、認定できない理由を討論します。

平成29年度決算では、反対討論が3件ありました。

一般会計

反対討論

栗原 洋子

反対理由に、前町長が進めてきた町政が町民に寄り添った方向でなく、国の悪政のもと、進んできた結果であること。

津南病院に一般会計から5億円を超える繰入をしているなか、看護師は足りていないという姿勢だ。空き病床の活用も決まらないなか、3月議会で一般病床62床を45床へと削減。住民の命を守り、安心してかかれる町立病院にすることは、開設者である町長の最大の責務である。農業では国の言いなりの姿勢であり、所得を増やす政策

が必要だ。子育て支援では、保育園整備の基本設計が今年3月に終了し、この8月、議員に突然270人定員の1園体制の設計図が示された。住民や議会を無視した1園ありき、建設ありきとしか言いようのない拙速なやり方には納得できない。現状の保育園体制を考慮し、より良い保育園へ行政は努力していくこと。町長は前町政を継続するだけでなく国の悪政からの防波堤になり、町民に寄り添った町政を行うことを切に願う。



国民健康保険特別会計

反対討論

藤ノ木浩子

反対理由の一つ目は、国保は低所得者、高齢者が多く加入しているなかで、保険料が高い。この構造的な問題解消が課題のなか、町は国保の都道府県化に向け国保料の連続値上げを実施し、住民に負担増を押し付けてきた。国保料は引き上げられたままである。加入者の実態は、年金、無職の方と非正規雇用の方が多く、被用者を合わせると76.2%で、こうした加入者の生活を支える上でも国保料の負担軽減を求める。二つ目に国の制度改悪で国保総収入に占める国庫支出金割合は減り続けている。平成11年は41.6%、29年は20.32%と毎年減っている。国庫負担を増やすよう国に要望していくべきだ。今後法定外繰り入れ解消が求められる制度になるが、住民の暮らしを支える立場に立つて、国保料の引き下げを願う。

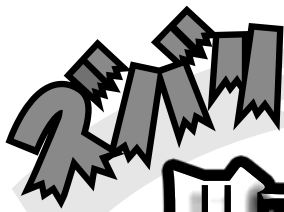
介護保険特別会計

反対討論

藤ノ木浩子

反対理由の一つ目は、「保険あって介護なし」の方向に制度改悪が進んでいることである。特養入所は、要介護3以上でない入所の申し込みができていない。待機者が減っているというが、要介護1、2が除外されたということだ。総合事業に制度が変わったことで、要支援1、2の方がサービスを利用できなくなったことも明らかとなった。

二つ目に利用料、保険料負担が重いことである。第6期介護保険料は6000円、第1期の2.32倍。延々と上がり続けている。利用料についても、制度始まって以来の2割負担、30年度からは3割負担も導入された。三つ目に介護職員の人材確保と処遇改善は喫緊の課題となっている。賃金の引き上げなしに人材確保はできない。介護報酬引き上げを求めていることが重要と考える。津南町の在宅サービス利用者への利用料負担の軽減と在宅介護手当の継続は素晴らしい。



町政を問う!!



一般質問(10議員)

- | | |
|--|--|
| <p>1 半戸義昭 議員 (4 ページ)</p> <p>1. 桑原町長の基本政策の具体的取り組みは</p> <p>2. 長野県側玄関口 117 号花壇の支援は</p> | <p>6 藤ノ木浩子 議員 (7 ページ)</p> <p>1. 大規模保育園構想について問う</p> |
| <p>2 中山 弘 議員 (5 ページ)</p> <p>1. 「ふるさと納税」を問う</p> <p>2. 保育園、小中学校の空調設備は</p> | <p>7 栗原洋子 議員 (7 ページ)</p> <p>1. 「中条第二病院」の存続の危機感を問う</p> |
| <p>3 大平謙一 議員 (5 ページ)</p> <p>1. 儲かる農業へどう導くのか</p> <p>2. 前町長の政策継続について問う</p> | <p>8 筒井秀樹 議員 (8 ページ)</p> <p>1. 「大地の芸術祭」で地方創生はなったか</p> <p>2. 今年の「ひまわり畑」の景況感は</p> |
| <p>4 石田タマエ 議員 (6 ページ)</p> <p>1. 新保育園構想は、もっと議論が必要</p> | <p>9 村山道明 議員 (8 ページ)</p> <p>1. 農業用水施設 (造成ダム) の拡充について</p> <p>2. 「ニュー・グリーンピア津南」今後の運営は</p> |
| <p>5 風巻光明 議員 (6 ページ)</p> <p>1. 「津南のブランド化」推進の施策は</p> <p>2. 義務教育の在り方と課題を問う</p> | <p>10 恩田 稔 議員 (9 ページ)</p> <p>1. 観光、インバウンドの取り組みは</p> |

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

桑原町長基本政策の具体策は

町長 大規模・小規模農家が共存共栄できる、儲かる農業政策を進める。

町長 厳しい競争のなかで生き残るための農業施策は。

町長 農業立町を掲げる津南町勝ち抜くための具体策は

地域医療を守るために全力で取り組んでいきたい。

町長 町民の命を守る医療施策は時代に適応した医療の提供ができるものでなければならぬ。

町長 町民の命を守る医療施策は時代に適応した医療の提供ができるものでなければならぬ。

町長 町民の命を守る医療施策は時代に適応した医療の提供ができるものでなければならぬ。

町長 町民の命の砦、津南病院の今後の在り方は

町長 医師確保・看護師確保は病院経営にとり、何より大事であるが、医療を提供する側と受ける側の信頼関係・意思疎通が大事であり、病院と町民の一体感とかが考えは。



みんなで守りたいね、津南病院 外来患者のサポート「みまもり隊」

町長 国・県の補助制度の活用、地域づくりの応援、定住に促すための取り組みは

町長 津南に住みたい・住み続けたいと思ってもらうためには、他に負けない施策が必要と思うが。

町長 国・県の補助制度の活用、地域づくりの応援、定住に促すための取り組みは

町長 国道 117 号線沿いの花壇にボランティアで協力している方々に、支援が必要と思うが。

町長 環境美化にご協力いただいている方・団体に心からお礼申し上げたい。

農業に精通した人材を庁舎内に配置して、他に先んじた取り組みを行う。

町長 移住・定住を促すための取り組みは

町長 津南に住みたい・住み続けたいと思ってもらうためには、他に負けない施策が必要と思うが。

ふるさと納税寄付金の増額手腕は



中山 弘 議員

ふるさと納税の国要請と津南町独自の対応は

問 2017年度新潟県の納税額が増えているなか、津南町の寄附金が減である要因は。

町長 ふるさと納税寄付金は平成20年度に創設された。町においても平成27年度に見直し、ポータルサイトを利用した結果1億6000万円と大幅に増加したが、昨年度は8400万円と半分近く減ってきている。主力の返礼品の米が他の自治体と重複しているため魚沼コシヒカリを求めている人が流れたことや、寄附金の使途がわかりにくいことが考えられる。

問 返礼品の扱いや総務省の要請に今後の対応は。

町長 国は高額返礼品を規制する法改正を検討している

が、町は総務省の通知を受け、割合は3割以下とし資産性の高いものは送っていない。社会通念に照らし良識の範囲以内とし、制度の趣旨に沿った責任ある対応を行う。

保育園、小中学校の空調設備について

問 全国各地で気温が異常上昇した。町内各施設の現状と今後の取り組みはどうか。

教育長 保育園ではひまわり保育園と北部保育園の3歳未満児室に冷房設備があるが他は未設置である。

小中学校4校ともに保健室には設置済みだが普通教室は未設置である。今後の取組みは保育園新設に向け検討し、小中学校では県の大規模改造事業の要望調査があったので全教室設置について取り組みたい旨報告した。



人気の返礼品トップのコシヒカリ

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

儲かる農業への政策は



大平 謙一 議員

農家は規模によって考え方が大きく違う

問 大規模農家、兼業農家個々に対応するのか伺う。

町長 大規模農家には集積や法人化への手助け、小規模農家は集落維持に必要であり農地水保全事業などの支援で地区の保全を担ってもらう。また事業の維持を国に働きかけていく。

問 農業に精通した専門家の用途はついたか伺う。

町長 町には現在農業に精通した職員がいないので、相談がある人にはJAや県の施設に頼らざるを得ない。できるだけ早く専門の職員を採用したいが、まだ公表できない。

問 町長の公約、100%補助の基盤整備はできないと思う、どう取り組むのか伺う。

町長 町は80%以上の基盤整備はできた。残った未整地は課題が多く、現状では難しい。

上村町政の継続事業について

問 旧中津小の改築、保育園の統合については。

町長 旧中津小の運営等は地域の組織と話し合いながら進めたい。今年待機児童が出た。保育園統合は保育への環境整備や混合保育の解消などメリットはある。

問 ニュー・グリーンピア津南の今後の取組は。

町長 津南高原開発と10年の賃貸借契約中であり契約通りの運営をしていただく。

問 宝山荘の今後は。

町長 検討中である。町が直接運営することは考えていない。



老朽化が進む民俗資料館

新保育園構想はもっと議論が必要



石田 タマエ 議員

なぜ2園構想から1園構想になったのか

問 平成26年3月での答申では、町内2園体制が望ましいとされ、その方向で教育委員会も具体的に検討を重ねてきたと思うが、一般の教育委員会の説明では、いきなり将来的には町内1園で対応する方向性が示された。概ね270人を想定した新保育園計画だが、2園構想から1園構想となった経緯について伺う。

教育長 平成26年の答申を受けて、現ひまわり保育園と津南小学校近辺で新しく1園を建てる方向で検討を進めてきたが、津南小学校近辺は用地取得が困難である。こぼと保育園を増築する案も検討したが、土地が無い。この様なことから町有地のあるひまわり

保育園周辺ということになった。「周辺に2園を建てるのであれば、1園にしたらどうか」と保育園の園長会議等で1園構想が出された。

もっと議論に時間をかけられないか

問 住民や保育園のOBからは、「270人定員は大きすぎる。あり得ない」という意見が多く聞かれる。また「現に保育園が有るのに10億円以上のお金をかける必要はない」と言った意見もある。財源は、すべて起債で対応すると言うが、現財政状況からは非常に厳しい。もう少し意見を集約する時間がほしい。

教育長 今後の説明会等で活発な意見を頂きたいが、教育委員会ではこの通りに進めたい。



活用させたい「こぼと保育園」

この他優先事業について質問した。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

津南のPR積極的にすべきでは



風巻 光明 議員

津南ブランドを今後どう進めるのか

問 町長は津南ブランドの確立のため、「津南DMO」を立上げ法人化すると公約しているが最終目標は何か？

町長 DMOの設置は観光だけでなく、町民がずっと住み続けたい地域づくりのために、観光資源を活用し津南ブランドを確立するものである。DMOの設置には時間があるので、その前段として「津南未来会議」のメンバーを公募し短期間でまとめ上げる。

問 ブランドの尺度は数値で表せなく客観的に県内外から津南町の知名度と、どう評価されているかの検証が必要。県から配布された「新潟県のすがた」には津南町の地形風土、観光、農産物など一つも

載っていない。PR不足ではないか。

町長 津南町はPRが弱いという事は今までの課題として引き継がれてきた。知事に会うたびに秋山郷まで新潟県だと云っている。ここの良さをPRしていきたい。

通学時にかばんが重たい

問 学校に通うかばんが重たく腰痛などで通院している子どもが増えているとマスコミで問題視されている。また津南中の保護者から同様な声があるが、町の教育現場ではどのように配慮しているのか。

教育長 基本的には各学校での判断。重くならないよう様々な配慮をしている。調査した結果大体1〜15Kgで重いという事は認識していない。



猛暑のなか、汗だくで通学する子ども、対策は

一人ひとりに丁寧に关わる保育できるのか



藤ノ木 浩子 議員

保育士確保と大規模 保育園構想について

問 定員270人の大規模保育園建設を進めることで、保育士確保も待機児童解消も容易だとしているが、本当にそうなのか。保育士確保に困難を要している理由は。

教育長 1園体制へと統合した場合には、より職員の効率的配置が可能となるので、保育士確保は容易になる。確保困難な理由としては、町内外を問わず保育士の有資格者が少ないこと、他の事業所に勤めていることが考えられる。

問 保育現場で臨時職員数が正規員数を上回っている。非正規雇用化で保育士が確保できるのか。

教育次長 正職の保育士を定期的に採用すべきでないかと

教育委員会も考えているが、統合することで、正職員の比率を高くしていかなければならない。

問 大規模保育園で一人ひとりの子どもに、丁寧に关わる保育ができるのか。

教育長 丁寧に关わる保育はもちろん大切であるが、子どもの適正な人数の中で、互いに切磋琢磨しながら成長し合える環境を整えることも重要と考える。

問 定員270人は保育士が全園児を視野に入れられる規模か。住民に広く知らせ議論すべきだ。

教育長 統合は現場保育士の訴えであり、混合保育はデメリットととらえている。説明会で保護者・地域住民の声を聞いている。



大規模保育園は必要か

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

中条第二病院の存続を、強く要望する



栞原 洋子 議員

病床激減、 患者、家族に負担

問 中条第二病院が仮に機能しなくなれば、十日町、津南地域に精神科病床がなくなり、魚沼圏域でも激減することになる。患者、家族は遠くの病院へ行くことは困難だ。前町長から引き継ぎを受け、国県に緊急要望してきたか。

町長 8月に厚生連側が来町し、「医師1名減に代替が難しい。病院建て替えは再再延伸できない。年度末で病棟閉鎖し外来診療のみにしたい。今後理事会で決めることになる」と説明を受けた。突然の話であり、十日町市と連携が必要なことなどから、緊急要望はしていない。

問 「あり方検討委員会」に出席した副町長からどう説明を受けたのか。

受けたのか。

町長 病院側から医師1名減、建物老朽化により、今年度末で病床閉鎖、入院患者の調整を実施し精神科外来継続の検討を進めるとの説明を受け、十日町市、津南町は「突然の閉鎖は許されない」と発言したとの報告を受けた。

副町長 気持ちは議員と同じ、閉院は容認できない。とにかく存続してほしい。議会、住民に説明して欲しいと強く言っておいた。

問 特別交付税措置制度を元に戻し自治体負担がない制度にすることを国に強く要望すること。

町長 県、国に強く訴えていかなければならない。



中条第二、県要請へ(9月18日、県庁にて)

大地の芸術祭で地方創生はなったのか



筒井 秀樹 議員

「大地の芸術祭」で地方創生はどれだけ進んだか

問「大地の芸術祭」だが、津南町としては、地方創生になったか。今後も継続願いたい、移住者増加等の具体的な数値目標はあったか。

町長 地域の魅力を国内外に発信し、中間発表で入込み8%増。PR効果が表れ、地方創生の新しい流れができてきた。「大地の芸術祭」関連の目標数値はないが、芸術祭以外で、移住者があった。問「大地の芸術祭」総合案内所は、津南町物産館であれば、仮設トイレも必要なかったのではないか。地域振興課長 セレクトバスのバス停などを考慮し、総合的に判断した。

今年の「ひまわり畑」の景況感はいかがか

問「ひまわり畑」の、津南町への経済効果は。観光資源である「ひまわり畑」を活用した町内が潤うような施策はあったか。

町長 芸術祭との相乗効果で、来場者数は増加した。経済効果については試算できず。津南町商工会が、観光客循環の施策を行った。

問 温泉等に誘客の仕掛けはなかったのか。商店街を巻き込んだ施策はあったか。

地域振興課長 問い合わせの際には対応している。事業所ごとの検証はしていないが、クーポン事業を行っている。問 来訪者に「ふるさと納税」や「移住」の案内チラシを配るような検討はなかったか。地域振興課長 今年は間に合わなかったが、今後検討していく。



閑散とした総合案内所

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

造成ダムの拡充を国県に要望すべし



村山 道明 議員

農業立町であり、直ちに要望すべきだが

問 今年も異常気象で、農業用水が不足し農作物の被害がでている。7月24日現在貯水率（別表）となり、関係水系の輪番制を実施した。まさに「やる気のある農家の支援」が町として課せられた施策であり、大谷内ダム等々の貯水量造成・拡充を国県へ要望の項目に入れる考えは。

町長 6月7月降水量は平年の30%程度。8月2日に町水稻渇水被害対策応急事業を立ち上げた。貯水量が減少し、節水、輪番体制に協力頂いた。ダム改修や新設は、多額の費用が必要で、受益者負担も伴い関係者と協議し受益者の意向がまとまった段階で、国県へ要望する。

ニュー・グリーンピアの運営をどうするのか

問 当施設の運営について議論する指定管理者制度検討委員会が設置された。町長は所信表明でもニュー・グリーンピア施設運営方針に一言も言及していない。委員会の白紙撤回と今後運営の姿勢を伺う。

町長 公約でリゾート経営のプロに任せることも選択肢の1つと発言してきた。さまざまな手法で今後の方向性の検討が必要と考える。仮称「ニュー・グリーンピア津南指定管理者制度検討委員会」はまだ開催していないが、当面職員で行い、ある程度情報収集ができた段階で会議を考えている。

ダムの名称	H30.7.24現在	H30.8.8現在
大谷内ダム	貯水量1,200千㎡ 貯水率 57.7%	貯水率 7.4%
中深見源内山ダム	貯水量 400千㎡ 貯水率 86.5%	貯水率 22.2%
城原ダム	貯水量1,170千㎡ 貯水率 60.4%	貯水率 30.7%
中子ダム	貯水量 384千㎡ 貯水率 52.1%	貯水率 12.7%

町内のダム貯水状況

観光、インバウンドの取組みは



恩田 稔 議員

インバウンドの取組みは

問 国は訪日外国人を2020年には4千万人、2030年には6千万人の目標を掲げ、さまざまな政策を積極的に進めている。人口減少による経済の縮小を、インバウンドで補おうとしている。地方も全く同じ状況であり、全国の自治体は競い合ってインバウンドを進めている。

津南町は古くから農業の町であり、観光や交流など、人を受け入れることが得意ではない。しかし、時代が大きく変化するなかで、農業以外これといった産業がない町としては進めなければならない町として考えている。何故、こんな厄介なことを取り組まなければならないのか、多くの方に理解してもらう

必要があると思うが。

町長 農業は町の軸であり、しっかりと進めて行かなければならないが、一方で成長が見込まれる観光は農家を始めて、さまざまな業種に恩恵をもたらす可能性があり、観光、特にインバウンドは行政としても取り組まなければならぬものである。しかし、すぐ進めるのはなかなか難しい。地道に進めて行く。

問 今年は大地の芸術祭に、多くの外国人が来ている。人数が増えればいいということではなく、町の活性化や所得の向上にどう結び付けるのか。私はそれが公約である観光課の独立だと考えていたが、いつごろの予定か。

町長 現在庁舎内で検討している。実施時期については未定である。



台湾の方がとても美しいと感嘆した川の展望台

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

平成30年9月議会採決結果

議案番号	件名	表決状況												採決結果	
		半戸義昭	村山道明	石田タマエ	風巻光明	筒井秀樹	乗原洋子	中山弘	津端眞一	大平謙一	河田強一	藤ノ木浩子	吉野徹		恩田稔
議案第52号	財産の取得について（圧雪車）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第53号	工事請負契約の変更について（旧大船町営住宅解体工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第54号	平成30年度津南町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第55号	平成30年度津南町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第56号	平成30年度津南町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第57号	平成30年度津南町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第58号	平成30年度津南町簡易水道特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第59号	平成30年度津南町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第60号	平成30年度津南町病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
認定第1号	平成29年度津南町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	可
認定第2号	平成29年度津南町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	可
認定第3号	平成29年度津南町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
認定第4号	平成29年度津南町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	可
認定第5号	平成29年度津南町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
認定第6号	平成29年度津南町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
認定第7号	平成29年度津南町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
認定第8号	平成29年度津南町病院事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

●採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決等の場合 否＝賛成少数で否決等の場合）
●表決状況の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠・除斥＝除：議長は表決に参加できません）

委員会レポート

Commission Report

総文福祉常任委員会

県外視察

◆とき 8月2日(木)

◆ところ

富山県富山市

「ふるさとのあかり」

富山県富山市

「グループホームしおんの家」

◆内容 1993年に誕生した「富山型デイサービス」高齢者通所介護、障害者生活介護、共生型グループホーム等の活動の視察をしました。

「ふるさとのあかり」では、空き家を利用して、サービスを提供しておりました。

「グループホームしおんの家」では、小規模多機能サービスで在宅介護の支援を行っています。

施設内には賃貸型グループリビングが併設しており、障害者子どもさんと高齢になった親御さん、その親族が共同生活を送る場所を提供していました。

県内視察

◆とき 8月3日(金)

◆ところ

糸魚川市

「小滝地区自治振興協議会」

糸魚川市

「上南地区地域づくり協議会」

◆内容 高齢化、過疎化が進むが観光資源のある「小滝地区」とアイデアで活性化している「上南地区」の活動の視察をいたしました。

「小滝地区自治振興協議会」では、人口も10集落で152人のため、地域住民全員参加で地域づくりを推進していました。

「上南地区地域づくり協議会」では、若者負担を増やさず、地域貢献意欲のある高齢者で活動、区長負担なしに、否定をしない会議で提案を実現。

事業では事業資金を増やす努力をし、その姿勢が徐々に地域に浸透し、若者の積極的な参画という副産物も。

視察を終えて

柔軟なサービスを提供するという点で、津南町もできる対策を講じていけるように、体制の変化が必要な時期なのではと痛感しました。

(担当 筒井秀樹)



小滝地区での視察

産業建設常任委員会

県外視察

◆とき

7月25日(水)～26日(木)

◆ところ

福島県西会津町

◆内容 今回は廃校を活用し交流の拠点として注目され

ている国際芸術村を視察しました。平成14年に中学校閉校、平成16年9月に芸術村として開村し、海外の芸術家を公募し、アーティストインレジデンスとして事業を開始、現在は一般社団法人の代表理事が運営していました。この方はアメリカでの仕事を辞め、故郷の実家に戻り、町の活性化に奮闘していました。文化や歴史を観光に結び付けることで交流が拡大し、町づくりに大きな成果を上げていました。

◆ところ 福島県南会津町

◆内容 当町と同様、新規就農者支援事業を積極的に取り組んでいます。また空き家バンク事業も連携し、移住促進に成果が上がっているようです。新規就農の多くは南郷トマトを栽培し、冬期間はスキー場で働くといった形態が多いとのこと。津南町のように大規模な農業ではないことから、取り組み易いように思われました。

◆ところ 福島県飯館村

◆内容 避難解除になった地域の現状を視察。コンビニや道の駅などがオープンし



西会津国際芸術村



て、賑わいが少しずつ戻っているように見えますが、積み重ねた汚染土はそのままであり、元に戻るには相当の年月がかかると感じました。

視察を終えて

アートは人を魅了する。それを町づくりはどう活かせるか、知恵を出さなければなりません。

(担当 恩田 稔)

稲作・畑作状況調査

◆とき 9月4日(火)

◆ところ

割野・正面・米原・沖ノ原・中子・相吉

◆内容

水稲生育状況

茎数(穂数)は「やや多い」
藁長は「並」葉色「やや淡い」
でおおむね良好でした。

◆今後の生育・作柄予想

病害虫の発生、被害では斑点米カメムシの発生は平年並かやや少なく減収、品質低下は少ない。今後は収穫時期が平年より3〜4日程度早まるため、刈遅れに注意とのことでした。

◆調査時の作柄予想

一定の登熟歩合が期待できるため、平年並かやや良が見込まれます。昨年から実施されている密苗田も良かったようです。

畑作では沖ノ原の秋ニンジンが2割減、雪下ニンジンが1割減、加工トマトでは日焼け・中割れ・劣化等で反収2トンと大幅減となりました。アスパラは病害がなく平年並みです。トウモロコシでは梅雨時期が短く暑さも影響し収穫減となりました。鳥



割野河原の密植苗も良好でした

獣被害は電柵の効果か少なかったようです。相吉山の野沢菜ではネコブキン、ナンブ病で出荷95%と昨年より悪くなりました。

視察を終えて

地球温暖化のせいかわる暑の年であったが、稲作はさほど影響はなく良かったが、畑作では全般に悪く、農家の努力と気象がわりあわなく生産者の難儀をあらためて感じた視察調査でした。

(担当 中山 弘)

県に要望書提出

【要望事項】

灰雨バイパス早期着工要望に対し地質調査詳細設計、用地測量を進めていく。補償契約も進めていきたいので地元地権者より協力願いたい。現道の通行確保を図りながらの工事となるので平成31年度は迂回路の着手にしたいとの回答があった。県も財政が厳しいができる所から着工するとの回答であった。

- 一、灰雨バイパス早期着工
- 一、国道405号整備
- 一、小千谷十日町津南線整備
- 一、県道中深見越後田沢停車場線整備
- 一、県道結束上郷宮野原線の整備
- 一、県道秋山郷森宮野原停車場線整備
- 一、信濃川、釜堀川、新田川整備

町民登場

この人に 会いました…

かな い りょう へい
金井 良平さん (大割野)

仕事のこと

(有)かねと商店で働いています。建築資材、金物、日用雑貨、燃料、LPガスなどの販売をしています。私は中深見にある出光の給油所にいますので、是非お立ち寄り下さい。お待ちしております。

津南町のいい所

とにかく人！皆さん本当にあったかいですね。元気がなかったら「なんか元気ないね、大丈夫？」と気遣ってくれる。困っていたら「手伝える事があったら言ってね」と手を差し伸べてくれる。私もそんな人になりたいです。



趣味のこと

飽き性な私が唯一続いているのが趣味のクライミングです。ボルダリングとの出会いは十三年前の津南祭りでした。思ったよりも登れなく、悔しい思いをしたのを覚えています。そうです！私は負けず嫌いなのです(笑)。それ以来強くなりたくて必死に登りました。週末には仲間と往復7時間かけて自然の岩に登りに行っています。クアハウス津南にもいい壁があるので興味がある方は声を掛けてください。一緒に登りましょう！

編集後記

町長選により広報委員会から桑原悠(現町長)委員が退任し、補選により新議員が誕生しました。欠員になったため前任の席にお願いしました。先月号から編集委員は新人を含めた6人体制で担当しています。任期はあと1年ですが、さらに町民に身近な「議会だより」を、よりわかりやすく編集するよう気持ちを新たに努力しています。委員を紹介いたします。

- | | | |
|------|----|-----|
| 委員長 | 村山 | 道明 |
| 副委員長 | 石田 | タマエ |
| 委員 | 半戸 | 義昭 |
| | 恩田 | 稔 |
| | 筒井 | 秀樹 |
| | 中山 | 弘 |



議会だよりは私達が担当します

どうぞ宜しく願います。
(中山弘)